

令和7年11月21日

【文部科学省】

【概要書】

国立研究開発法人科学技術振興機構
令和6年度特定公募型研究開発業務
（創発的研究）に関する報告書及び
同報告書に付する文部科学大臣の意見

標記の報告書を衆議院議長に提出いたしました。

連絡先は省略。

令和6年度「特定公募型研究開発業務（創発的研究）」に関する国会報告の概要

（基金の執行状況及び管理状況）

- 特定の課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって破壊的なイノベーションにつながるシーズ創出を目指す「創発的研究支援事業」について、令和6年度当初予算により6千万円を追加造成。
我が国の優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し、博士人材の多様なキャリアパスの整備を進める「博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保」について、令和5年度補正予算により499億円を追加造成。
国家戦略分野である次世代 AI 分野の人材育成及び先端的研究開発を推進する「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業」について、令和5年度補正予算により213億円を造成。
- 令和6年度は、「創発的研究支援事業」における採択した研究者に対する支援、研究提案募集及び審査等を行うため96億円を支出。
「博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保」における外部有識者からなる委員会の運営、公募及び審査の実施並びに採択されたプロジェクトに対する支援等を行うため、296億円を支出。
「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業」における体制・関係規程等の整備、外部有識者からなる有識者委員会の設置、公募及び審査を行うため7億円を支出。
- 基金の残額1,518億円※(令和6年度末現在)は令和7年度以降の研究費等に充当予定。
※ 「創発的研究支援事業」における残額は996億円、「博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保」における残額は316億円、「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業」における残額は206億円であり、計1,518億円

（文部科学大臣の意見の概要）

- 透明性・公正性に十分留意したものであり、適正であったと認められる。
- 「創発的研究支援事業」については、引き続き挑戦的な研究を採択するとともに、事業の定常化も見据えた不断の合理化に取り組みつつ、事業を着実に推進することが必要である。
- 「博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保」については、引き続き我が国の優秀な志ある博士後期課程学生への支援を実施するために、事業を着実に推進することが必要である。
- 「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業」については、引き続き緊急性の高い国家戦略分野における人材育成及び先端的研究開発を推進するために、事業を着実に推進することが必要である。
- 基金の管理については、科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第27条の2第3項の規定により読み替えて準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、安全性の確保を最優先に、収益性の向上にも配慮した適切な運用が図られた。